

月刊

地域保健

2
2010



● FACE 2010

西内千代子さん

日本産業保健師会会長

●特集

緊急！ 自殺対策 いのちの絆をつなぐ



地域と職域の「共通言語」が大切

事例を通じた業務紹介の場を持ちたい

日本産業保健師会会长 西内千代子さん

photographs : Sei Kamiyasu

連携の必要性が叫ばれながら、共通言語がないなど課題も多い地域

保健と産業（職域）保健。2008年に発足した日本保健師連絡協議会では、5団体の1つとして「日本産業保健師会」が産業保健師を代表して名を連ね、さまざまな領域にわたる保健師が足並みを揃える基盤が整備されてきました。同会の西内千代子会長に産業保健師の現状と地域との連携を中心にお話を伺いました。

地域も産業も 使う技術や視点は同じ

—日本産業保健師会の発足の経緯について伺います。

に名称を変えていました。

発足当時に実質的な活動をしていた

メンバーは20人ほどでしたが、今は200人近くにまで増えました。企業や健康保険組合の保健師のほかにも、

発足に合わせて「産業保健師活動研究会」を急遽立ち上げました。会の発足は日本保健師連絡協議会と同じ08年の3月です。現在は「日本産業保健師会」

西内 数年前から、保健師の関係団体の中で共同の活動基盤をつくろうという動きがありました。背景には、特定保健指導がクローズアップされたことで「保健師は特定保健指導をやる専門職」という誤解が生じていることや、大学の保健師教育に対する危機感がありました。産業保健師の場合はそれまでまとまった団体がなかったので、2008年の日本保健師連絡協議会の





わが国における自殺者数は1998年から11年間連続で3万人を超え、先進国中最悪の状況が続いている。2006年には自殺対策基本法が施行されたが、景気の悪化で自殺を引き起こすリスクはより高まっており、09年11月5日には政務三役および有識者による「自殺対策緊急戦略チーム」が発足、国を挙げての防止策が急ピッチで進められている。

従来、自殺は「うつ」の側面から取り上げられることが多かった。しかし最近になって社会経済的な要因を含めた複数の要因が絡んで起きることが着目され、多重債務者への支援など、多面的なアプローチに取り組む自治体も出てきている。

国の最新の動きと各自治体の自殺対策を紹介する。

p16 ●インタビュー 内閣府本府参与・清水康之さん
当事者の目線に立った支援を 聞き手 編集部

p22 ●参考資料
自殺対策 100日プラン

p28 ●事例
気づくつながる いのちを守る
人材育成からネットワーク構築まで総合的に取り組む東京都足立区
取材・文 編集部

p32 ●事例
全市を挙げた「いのちを守る緊急総合対策」
「のぞみローン」創設で多重債務者の救済を図る宮城県栗原市
栗原市自殺防止対策連絡協議会 佐藤 勇

p41 ●事例
自殺者ゼロ実現に向けて
経済・生活問題、うつ対策を総合的に推進する京都府京丹後市
健康長寿福祉部 蒲田有希子

p50 ●事例
「たいせつにしたい、一人ひとりのかけがえのない命」
「いのちの応援係」新設で自殺未遂者のリスク軽減を図る大阪府堺市
健康福祉局健康部 豊坂民雄



夢は顔の広い保健師！ ママパワーで頑張る大都市のひよこさん

廣島市安佐南区 厚生部保健福祉課保健指導係
●文・写真 西内義雄（医療・保健ジャーナリスト）

末永 麻衣さん



人懐っこい笑顔が印象的



中高とバレーボール部のキャプテン。運動はお任せ！

ひよこさんの取材をする際、事前に簡単なプロフィルを送つてもらっている。それを読んで、自分なりのひよこさん像を思い浮かべ、現地に行くわけだ。たまに変わったことを書いてくる方もいて、それはそれで面白い。

今回注目したのは、「妊娠」「育児」という文字だった。母子をやつていれば出てくるのは当たり前だけど、どうもそういうことではなく、本人のことらしい。え、ママのひよこ保健師さんなの？ よく分からぬまま広島空港に降り立つた。

向かったのは空港から山陽自動車道でおよそ40kmの広島市安佐南区総合福祉センター。最近できたばかりというだけあり建物はとても新しく、明るい光がいっぱいに入ってくる施設だ。区役所は別の場所にあり、ひよこさんが所属する厚生部保健福祉課はこちらで業務を行っている。

今回の主人公、末永麻衣さんはとて

社会人2年目に “変化”が

も明るく初対面でも話しやすい感じのする27歳。第一印象では子どもがいるようには感じないのだが……何はどうもれ、じっくり話を聞いてみよう。

末永さんは地元広島市生まれ。幼稚園から横浜市に暮らし、このころすでに看護師を意識し始めていたものの、小学校では絵を描くのが好きで漫画家やイラストレーターにも憧れた。中学校ではバレーボール。高校は広島に戻り、やはりバレーボール部に所属し、中高とキャリアを務めていた活発な少女だった。

本格的に看護師を意識し始めたのは高校のとき。といつても最初に思い浮上したのは職業よりも働き方のほうで「自立して働く、ひとりでもできる技術系の仕事がしたいなと思つていました。それで看護師を意識し、高2の

ときに看護体験をする機会があり、あ、いいかも……と」

同時に、助産師にも興味があつたため、両方の資格を取ることのできる進学先を検討。できるだけ近くで探したところ広島県立保健福祉大学（現、広島県立大学）があり、一般受験で看護科に入学することができた。

「でもね、4年生までに必要な単位を